

野球ネット導入について

HOME > 独立リーグ・アマチュア > 少年野球 > 野球人口回復へ、少年からプロまで一体に 画期的な「競技者登録システム」導入へ

野球人口回復へ、少年からプロまで一体に 画期的な「競技者登録システム」導入へ

少年野球 2022.03.01

Twitter Facebook LINEにおくる Bookmark



BIZREACH
採用ご担当者様へ
年収500万円
以上の即戦力人材を
2名採用
したときのコストはこちら

SAMURAI JAPAN

NIPPON EXPRESS「侍ジャパン」応援サイトでもFull-Countスペシャル記事を配信!!



「今後の成長のきっかけに」 U-12代表・仁志監督が国際大会で選手に寄せる期待



侍ジャパン・栗原隼矢が決勝権飛 同僚モイネ口撃で激闘制す「何とかしたい気持ち」



侍ジャパンがスーパーラウンドへ1位進出 キューバと激闘 井端監督「苦しい試合だった」

正確な野球人口や推移、野球歴を把握して普及や振興に活用

時に“国技”とも言われる野球だが、競技人口の減少は大きな課題となっている。対策を講じる際にハードルの1つとなっているのが、少年野球からプロ野球まで幅広いカテゴリーの組織がそれぞれに活動していること。野球界全体の現状を正確に把握し、効果的な策を打つために導入されたのが「競技者登録システム」だ。

元プロ50人以上が参戦 現場指導者の支持多数 “YouTube”にない野球指導動画が「無料で200本超」見放題

歴史があり、各団体や組織が単独でも活動できたために野球は他競技から後れを取った。サッカーやバスケットなどでは既に一般的になっている「競技者登録システム」が、野球界にも導入された。少年野球にはじまり、中学や高校、社会人やプロまで老若男女、チームに所属している選手を一括管理するシステムだ。

現在のチームに所属しているのか、いつまでどんなチームで野球を続けているかなど、選手個人の野球歴が分かる。今年からテスト導入する全日本軟式野球連盟の小林三郎専務理事は、新システムへの期待を口にする。

「全ての選手に登録してもらえば、正確な野球人口、推移を把握できます。軟式から硬式に移行する選手、大学や社会人まで野球を続ける選手などを知ること、野球振興や活動、指導者講習など幅広い活動に生かせると思います」

夜間頻尿・尿もれ
1分 即効対策!
その方法とは?
アスカ鍼灸治療院 福祉式DVD 今すぐ見る!

Jera セ・リーグ AWARD 2024



ナリコホールディングス

お悩みに合わせた最適な厨房運営